



ま とく れい こう 磨徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



アジサイが咲き始めました

第8号

R5.6.2発行

文責 永田 功臣

運動会120%の力を発揮！！

5月28日(日)は薄曇りでさわやかな風も吹き、絶好のコンディションの中、運動会を実施することができました。今年度は、ウィズコロナの考え方で学校運営協議会、学校支援の会、地域の方々にご案内を差し上げ、多数ご来校いただきました。そして保護者の方々を加えたたくさんの参観者の中で子どもたちが、精一杯の走りやダンス、エール交換等を見せてくれました。二人の団長が宣言してくれた通り、日頃の120%の力を出し切った運動会だったと思います。



この達成感を自信につなげて、今後の学校生活に生かしてほしいと思います。特に「声の出し方」についてはいろいろな活動の場面で生きてくると思います。

最後に、当日運営を手伝ってくれた20名の中学生、玉入れ、綱引き、踊り等に参加して盛り上げてくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いします。



《保護者webアンケートより》一部抜粋

- 少人数ですが力強さを感じる運動会だったと思います。
- 出番が多いので、とても楽しく、あっという間でした。リレーも大差がつくことなく接戦になったりと、見応えがあり盛り上がりました。
- 今年も、中学生が沢山お手伝いに来てくれたおかげで、ゆっくり応援出来て、心から感謝します。
- 子供たちの嬉しそうな顔、悔しそうな顔色々見れて良かったです。成長を感じられる運動会でした。ありがとうございました。
- みんなで力を合わせて頑張ってる姿を見て感動しました。
- とても良い運動会でした。少人数で、動きっぱなしで大変だったと思いますが、最後まで競技も応援も頑張っていて、みんなの一生懸命さが伝わって来ました。

☆はらから☆ ~キラリと光るために~

あいさつや返事に力を入れるのは、将来、**人とのコミュニケーションがスムーズにできたり、印象をよくしたりする効果**があるからです。また、それ以上に**自分の意志や気持ちを伝える**ことが、これからの社会でもとても必要だと思うからです。予測が難しい社会で、**協力して課題を解決していく**必要があります。話合いにも力を入れていますが、合わせて、あいさつや返事でも「キラリと光る」人を目指してください。

「あいさつや返事を
する場面で
「キラリと光る」
人になるために
明るくハキハキと
あいさつや返事を
いつもできるように
がんばる

「あいさつや返事を
がんばる」
五年 杉本 月鈴

もっとサイエンス



先生方の中で最近「方位」が話題になりました。「どうやって方位を決めているか」「夜は何をもとに方位を知るか」等いろいろと疑問がわいてきます。方位は3・4年生の社会で学習しますが、理科でも大切なものです。ちなみに子午線の北極の方向が北となります。

方位磁針(コンパス)で北極を知ることができますが、これは地球が大きな磁石になっているからです。方位磁針のN極(赤い針)が北を向くということは、**北極は磁石のS極**ということになります。

また一つ疑問が生まれます。「**北極点に立ったら、東や西はどちらの方向になるか**」という疑問です。よく考えてほしいのですが、結論から言うと「**北、東、西はなくて、すべて南**」ということです。どちらに真っすぐ進んでも南極点に到達します。何か不思議です。

夜に方位(方角)を知る方法として「**北極星**」という星が大切です。これは自分で調べてみてください。

「引き取り・引き渡し」お世話になりました

梅雨に入り、大雨が予想されます。また、台風や地震等の自然災害も油断はできません。今回の訓練を生かして、万一の場合もスムーズに引き渡しできますよう、ご協力よろしくお願いします。